

平成 27 年度学校自己評価について

教務部

3 月下旬に教職員全員を対象として自己点検・自己評価を実施し、その結果を集計しました。
なお、評価点は 4 点満点で行っています。

(1) 評価テーマの自己評価点

番号	評価テーマ	自己評価点	26 年度評価点	25 年度評価点
1	教育理念・目標・育成人材像	3.08	3.09	3.13
2	学 校 運 営	3.09	3.06	2.98
3	教 育 活 動	3.19	3.28	3.22
4	教 育 成 果	2.98	2.89	3.08
5	学 生 支 援	3.33	3.33	3.14
6	教 育 環 境	3.53	3.30	3.42
7	学 生 募 集 と 受 入 れ	3.16	3.05	3.15
8	財 務	3.25	3.05	2.93
9	法 令 等 の 遵 守	3.31	3.29	3.21
10	社 会 貢 献	3.50	3.30	3.42
11	国 際 交 流	3.35	3.28	3.33

(2) 結果を受けての総括

10 の評価テーマが 3.00 以上の評価点であり、8 つの評価テーマが過去 2 年間で一番高い評価点となった。特に 8 番「財務」は、現在の方法により学校自己評価を実施した 25 年度評価点が 2.93 だったのに対して 27 年度評価点は 3.25 となり他のテーマと比較して大幅に評価点が増加した。

この要因を分析すると、会議や各学科リーダーから学科単位での財務状況を全教職員に周知するようになり財務情報が見えるようになったこと。それにより予算管理や収支管理などの原価意識が高まったのではないかと考える。

次に 1 番「教育理念・目標・育成人材像」と 3 番「教育活動」の評価点が若干ではあるが年々減少している。さらに各評価テーマの評価項目をみると 1 番では「学校の将来構想があり、3 年~5 年程度先を見据えた中期的構想を抱いているか」が評価点を多く落としている。3 番では「教職員の能力開発のため、研修等が行われているか」が低い評価点が続いている。

この要因を分析すると、前者については、関連性がある 2 番「学校運営」の評価項目である「運営組織や意思決定機関は、効率的なものになっているか」の評価点が 3 年連続で 3.00 未満である点が関係しているのではないかとと思われる。教職員の印象として運営組織の意思決定に中期的な構想が見えていないのではないだろうか。後者については、地理的な条件で研修に参加できないこともあると考えるが、日々の授業、学生対応、分掌によって参加する時間が取れないことや予算の関係により参加できないことが挙げられると思う。それぞれの解決策は次ページから結果詳細にて明記した。

1-1：教育理念・目標・育成人材像

番号	評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
		4	3	2	1
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	3	2	1
2	学校の特色として挙げられるものがあるか	4	3	2	1
3	学校の将来構想があり、3年～5年程度先を見据えた中期的構想を抱いているか	4	3	2	1
4	学校の理念・目的・育成人材は学生・保護者に周知されているか	4	3	2	1

1-2：集計結果（総評価点：3.08 26年度総評価点：3.09 25年度総評価点：3.13）

番号		適切 (4点)	ほぼ適切 (3点)	やや不適切 (2点)	不適切 (1点)	評価点	26年度 評価点	25年度 評価点
1	人数	9	11	0	0	3.45	3.50	3.40
	点数	36	33	0	0			
2	人数	6	13	1	0	3.25	3.45	3.25
	点数	24	39	2	0			
3	人数	3	10	6	1	2.75	2.80	3.10
	点数	12	30	12	1			
4	人数	4	9	7	0	2.85	2.60	2.75
	点数	16	27	14	0			

1-3：上記 1-1 の項目についての課題

<p>①一部には認知されているかもしれないが、学生・保護者全員に周知されない</p> <p>②特色として挙げるべき結果が出ていない（とくに資格試験）</p>
--

1-3：上記 1-3 について今年度実施予定また実施済みの改善策

<p>①保護者への周知のため、学校便り発行だけではなく、PTA総会にて保護者面談の割合を増やし保護者本人と話す機会をより多くする</p> <p>②資格試験の結果を出すためにカリキュラムの見直しを行い、また学科会議は科員だけではなくブランドマネージャーも参加し、方針や対策について指導やチェックを行うようにした。</p>

2-1：学校運営

番号	評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
1	運営方針は明確に定められ、きちんと教職員に明示され、伝わっているか	4	3	2	1
2	目的・目標を達成するための事業計画が定められており、事業計画に沿って運営されているか	4	3	2	1
3	運営組織や意思決定機関は、効率的なものになっているか	4	3	2	1
4	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	4	3	2	1
5	教育活動等に関する情報公開が適切になれされているか	4	3	2	1
6	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

2-2：集計結果（総評価点：3.09 26年度総評価点：3.06 25年度総評価点：2.98）

番号		適切 (4点)	ほぼ適切 (3点)	やや不適切 (2点)	不適切 (1点)	評価点	26年度 評価点	25年度 評価点
1	人数	7	10	3	0	3.20	3.35	3.25
	点数	28	30	6	0			
2	人数	6	11	3	0	3.15	3.15	3.30
	点数	24	33	6	0			
3	人数	4	11	4	1	2.90	2.85	2.85
	点数	16	33	8	1			
4	人数	3	13	4	0	2.95	2.75	2.50
	点数	12	39	8	0			
5	人数	7	11	2	0	3.25	3.25	2.95
	点数	28	33	4	0			
6	人数	6	10	4	0	3.10	3.00	3.05
	点数	24	30	8	0			

2-3：上記2-1の項目についての課題

<p>①組織図などの決定が遅い</p> <p>②就業時間等の問題はまだ解決していないように思われる</p>

2-4：上記2-3について今年度実施予定また実施済みの改善策

<p>①組織図の案を早い段階で発表し、その後、各学科と部署で分掌の調整を行い、正式決定した</p> <p>②とくに曖昧だったオープンキャンパス時の就業時間は10:00～14:00までと明確にした</p>

3-1：教育活動

番号	評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
		4	3	2	1
1	教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けされているか	4	3	2	1
2	教育目標、育成人材像や業界の人材ニーズに対応した教育到達レベルや学習時間の確保はされているか	4	3	2	1
3	カリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等と連携し、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
6	関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
9	成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
10	資格取得等に関する指導体制は整っているか	4	3	2	1
11	育成目標に向け授業を行うことができる能力を備えた教職員を確保しているか	4	3	2	1
12	教職員の能力開発のため、研修等が行われているか	4	3	2	1

3-2：集計結果（総評価点：3.19 26年度総評価点：3.28 25年度総評価点：3.22）

番号		適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切	評価点	26年度 評価点	25年度 評価点
		(4点)	(3点)	(2点)	(1点)			
1	人数	6	14	0	0	3.30	3.20	3.15
	点数	24	42	0	0			
2	人数	4	15	1	0	3.15	3.30	2.95
	点数	16	45	2	0			
3	人数	6	12	2	0	2.90	3.25	3.25
	点数	18	36	4	0			
4	人数	7	12	1	0	3.30	3.10	3.00
	点数	28	36	2	0			
5	人数	9	10	1	0	3.40	3.30	3.15
	点数	36	30	2	0			

6	人数	7	10	3	0	3.20	3.35	3.35
	点数	28	30	6	0			
7	人数	7	12	1	0	3.30	3.35	3.55
	点数	28	36	2	0			
8	人数	11	8	1	0	3.50	3.70	3.55
	点数	44	24	2	0			
9	人数	11	7	1	1	3.40	3.25	3.50
	点数	44	21	2	1			
10	人数	8	8	3	1	3.15	3.35	3.50
	点数	32	24	6	1			
11	人数	5	11	4	0	3.05	3.25	3.10
	点数	20	33	8	0			
12	人数	3	8	7	2	2.60	2.95	2.60
	点数	12	24	14	2			

3-3：上記 3-1 の項目についての課題

- ①産業界との連携強化
- ②業界の人材ニーズに対応した教育レベルがまだまだ低い

3-4：上記 3-3 について今年度実施予定また実施済みの改善策

- ①坪内学園グループ専門大学校協力会を発足し、山陰県内 90 社が加入した
- ②上記①の企業へのインターシップ参加や学内説明会を実施する

4-1：教育成果

番号	評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
		4	3	2	1
1	就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
2	資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
3	退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
4	卒業生・在校生の活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1

4-2：集計結果（総評価点：2.98 26年度総評価点：2.89 25年度総評価点：3.08）

番号		適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切	評価点	26年度 評価点	25年度 評価点
		(4点)	(3点)	(2点)	(1点)			
1	人数	3	15	2	0	3.05	3.30	3.55
	点数	12	45	4	0			
2	人数	4	12	4	0	3.00	3.05	3.35
	点数	16	36	8	0			
3	人数	3	12	5	0	2.90	2.65	2.90
	点数	12	36	10	0			
4	人数	6	7	7	0	2.95	2.55	2.50
	点数	24	21	14	0			

4-3：上記 4-1 の項目についての課題

<p>①自分以外の学科コースの学生に関心が弱い</p> <p>②退学する可能性がある学生について対応が出遅れることがある</p>
--

4-4：上記 4-3 についての今年度実施予定また実施済みの改善策

<p>①年度当初に学科内だけではなく全学科の教員が参加し、一学科についてケース会議（研修）を実施して教員全員で対応策を検討するなど情報共有をして関心を深めた</p> <p>②年度当初に問題を抱える学生の状況表を作成して周知を行った</p>

5-1：学生支援

番号	評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
1	面接指導など就職指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか	4	3	2	1
2	学生の相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4	3	2	1
3	奨学金など学生に対する経済的な支援体制は整備され、有効に機能しているか	4	3	2	1
4	保健室など学生の健康管理を担う組織体制が整備され、有効に機能しているか	4	3	2	1
5	インターンシップなど課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	4	3	2	1
6	学生会館等、学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
7	保護者と適切な連携を図っているか	4	3	2	1
8	卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1

5-2：集計結果（総評価点：3.33 26年度総評価点：3.33 25年度総評価点：3.14）

番号		適切 (4点)	ほぼ適切 (3点)	やや不適切 (2点)	不適切 (1点)	評価点	26年度 評価点	25年度 評価点
1	人数	7	13	0	0	3.35	3.50	3.40
	点数	28	39	0	0			
2	人数	11	6	3	0	3.40	3.60	3.25
	点数	44	18	6	0			
3	人数	9	10	1	0	3.40	3.55	3.20
	点数	36	30	2	0			
4	人数	11	8	1	0	3.50	3.33	2.75
	点数	44	24	2	0			
5	人数	9	10	1	0	3.40	3.40	2.95
	点数	36	30	2	0			
6	人数	12	8	0	0	3.60	3.30	3.55
	点数	48	24	0	0			
7	人数	5	13	2	0	3.15	3.10	3.05
	点数	20	39	4	0			
8	人数	3	11	6	0	2.85	2.85	3.00
	点数	12	33	12	0			

5-3：上記 5-1 の項目についての課題

- ①キャリア支援センターだけでは学生全員の就職指導は難しい
- ②卒業生への支援体制が弱い

5-4：上記 5-3 について今年度実施予定または実施済みの改善策

- ①キャリア支援センター主導ではなく学科主導で就職指導をすることを会議で確認した
- ②在学生の求人だけではなく、卒業生の離職者に対する求人も同時にお願いする

6-1：教育環境

番号	評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
		4	3	2	1
1	施設・設備は、必要性に応じて充分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
2	防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

6-2：集計結果（総評価点：3.53 26年度総評価点：3.30 25年度総評価点：3.42）

番号		適切 (4点)	ほぼ適切 (3点)	やや不適切 (2点)	不適切 (1点)	評価点	26年度 評価点	25年度 評価点
		1	人数	11	8			
	点数	44	24	2	0			
2	人数	11	9	0	0	3.55	3.45	3.45
	点数	44	27	0	0			

6-3：上記6-1の項目についての課題

①机とイスをある程度新しいものになったがロッカーが古い
②ある程度修繕しているが全体的にはまだまだ不十分

6-4：上記6-3について今年度実施予定また実施済みの改善策

①来年度はロッカーを新規購入できるように予算申請する
②例年通り今年度も順次修繕していく

7-1：学生募集と受入れ

番号	評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
		4	3	2	1
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
3	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	4	3	2	1
4	学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

7-2：集計結果（総評価点：3.16 26年度総評価点：3.05 25年度総評価点：3.15）

番号		適切 (4点)	ほぼ適切 (3点)	やや不適切 (2点)	不適切 (1点)	評価点	26年度 評価点	25年度 評価点
1	人数	5	11	3	1	3.00	3.10	3.25
	点数	20	33	6	1			
2	人数	4	13	3	0	3.05	3.00	3.10
	点数	16	39	6	0			
3	人数	8	10	1	1	3.25	2.95	3.10
	点数	32	30	2	1			
4	人数	9	9	2	0	3.35	3.15	3.15
	点数	36	27	4	0			

7-2：上記 7-1 の項目についての課題

①入試選考の詳細を関わった教員しか知らない

7-3：上記 7-2 について今年度実施予定また実施済みの改善策

①今年度は全教職員で入試選考（面接試験）を実施する

8-1：財務

番号	評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
		4	3	2	1
1	中長期的に財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
4	財務情報公開の体制は整備されているか	4	3	2	1

8-2：集計結果（総評価点：3.25 26年度総評価点：3.05 25年度総評価点：2.98）

番号		適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切	評価点	26年度 評価点	25年度 評価点
		(4点)	(3点)	(2点)	(1点)			
1	人数	5	10	1	1	3.12	2.84	2.95
	点数	20	30	2	1			
2	人数	7	8	1	1	3.24	3.10	3.05
	点数	28	24	2	1			
3	人数	9	7	0	1	3.41	3.21	3.00
	点数	36	21	0	1			
4	人数	7	8	1	1	3.24	3.05	2.70
	点数	28	24	2	1			

注：未回答3人

8-3：上記8-1の項目についての課題

①学科ごとの収支計算方法が不透明

8-4：上記8-3について今年度実施予定また実施済みの改善策

①計算方法やその過程を提示する

9-1：法令等の遵守

番号	評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
		4	3	2	1
1	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
3	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	3	2	1
4	自己評価結果を公表しているか	4	3	2	1

9-2：集計結果（総評価点：3.31 26年度総評価点：3.29 25年度総評価点：3.21）

番号		適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切	評価点	26年度 評価点	25年度 評価点
		(4点)	(3点)	(2点)	(1点)			
1	人数	8	10	1	1	3.25	3.20	3.00
	点数	32	30	2	1			
2	人数	7	10	3	0	3.20	3.25	3.30
	点数	28	30	6	0			
3	人数	7	12	1	0	3.30	3.30	3.30
	点数	28	36	2	0			
4	人数	11	8	1	0	3.50	3.40	3.25
	点数	44	24	2	0			

9-3：上記 9-1 の項目についての課題

①特になし

9-4：上記 9-3 について今年度実施予定また実施済みの改善策

①特になし

10-1：社会貢献

番号	評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
1	学校の施設や教職員・在校生を活用した社会貢献を行っているか	4	3	2	1
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
3	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に行っているか	4	3	2	1

10-2：集計結果（総評価点：3.50 26年度総評価点：3.30 25年度総評価点：3.42）

番号		適切 (4点)	ほぼ適切 (3点)	やや不適切 (2点)	不適切 (1点)	評価点	26年度 評価点	25年度 評価点
1	人数	11	8	1	0	3.50	3.30	3.35
	点数	44	24	2	0			
2	人数	14	6	0	0	3.70	3.50	3.55
	点数	56	18	0	0			
3	人数	7	12	1	0	3.30	3.10	3.35
	点数	28	36	2	0			

10-3：上記 10-1 の項目についての課題

<p>①もっと積極的なボランティア活動ができる環境を作ってあげたら良い</p> <p>②ボランティアが短時間で形式的なものになっている</p>

10-4：上記 10-3 について今年度実施予定また実施済みの改善策

<p>①教員がボランティア活動内容を決めるのではなく学校行事実行委員会（学生だけの委員会）が決定する</p> <p>②上記①により日時も教員が決めるのではなく学校行事実行委員会が決定する</p>

11-1：国際交流

番号	評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
1	留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4	3	2	1
2	留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	3	2	1
3	留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	3	2	1

11-2：集計結果（総評価点：3.35 26年度総評価点：3.28 25年度総評価点：3.33）

番号		適切 (4点)	ほぼ適切 (3点)	やや不適切 (2点)	不適切 (1点)	評価点	26年度 評価点	25年度 評価点
1	人数	9	7	1	1	3.33	3.21	3.30
	点数	36	21	2	1			
2	人数	12	5	0	1	3.56	3.47	3.50
	点数	48	15	0	1			
3	人数	7	8	2	1	3.17	3.16	3.20
	点数	28	24	4	1			

注：未回答2人

11-3：上記 11-1 の項目についての課題

<p>①日本語学科の教員を中心に行われており、関わりのない教員は全く関わっていない現状</p> <p>②日本語学科の教員のみが情報を把握しており、現状がよくわからない</p>

11-4：上記 11-2 について今年度実施予定また実施済みの改善策

<p>①日本語学科と他の学科が交流できるようなイベント等を実施する</p> <p>②会議等で日本語学科の学生状況も伝える</p>
--